



# JFVSS Newsletter

## 大学病院での臨床開始

日本は大変蒸し暑い頃かと思えます。こちらの夏は乾燥しているので外にいてもあまり汗をかくということはなく、また夜は涼しいので非常に過ごしやすい気候です。コロラドを訪れるのはウィンタースポーツを楽しみたい人以外は夏（7～9月）がおすすめです。

病院に本格的に所属して診療に参加するようになり2週間が経ちました。まだレジデントというよりはどちらかというインターンのような感じで常に専門医の教官と相談しながら診療させてもらってます。とはいっても飼い主と話すのは自分ですし、学生の教育もしなければいけないので毎日ヒヤヒヤしながらやっています。やはり獣医学的な大変さというよりは英語での苦勞が圧倒的に多いですが……。あと大学病院なので他の科との連携をとるのも一仕事ですし、こちらのシステムに慣れるのにはもう少し時間がかかりそうです。まだ1日1～2件くらいしか診てませんが、診察が終わるときは正直疲れきっています。

もちろん獣医学的な苦勞も多々あります。一般内科はカバーする病気の領域が広いので不得意な分野を早く無くしたいな～と思って日々頑張っています。呼吸器系とかまだまだ経験・知識不足なんです。なんといっても大変なのは感染症！アメリカ（コロラド）の感染症事情に慣れるのは時間がかかりそうです。レプトスピラは常に頭に入れとかなないといけないし、エールリヒアやアナプラズマなどなど、頭が痛いです……。

苦勞も多いですが本格的に臨床に参加できるようになって充実感も強く感じています。早く仕事に慣れて一人前のレジデントとして仕事ができるよう頑張りたいです。

佐藤 雅彦

